

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者				
1	5	牛山 基樹	(1)	グリーン社会の実現に向けて、しなやかで未来志向な強い町づくりについて	① 富士見町におけるSDGsについて、町長が職員に望む行政運営の考え、ビジョンは。	町長			
					② リスクに対する地域強靱化の考え、富士見町だからこその取り組みについて。優位性、弱点、必要で可能な地域強靱化(レジリエンス)は何か。				
					③ 防災計画に位置づけられた施設に、「防災・減災と低炭素化を同時に実現する、再生可能エネルギーと蓄電による、自立分散型設備の導入」のその後の成果は。				
					④ 地域循環でのグリーンリカバリーと再生可能エネルギーの活用について				
					⑤ 富士見町気候非常事態宣言、富士見町ゼロカーボン宣言の考えについて				
			(2)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による出生数の大幅な減少、住民福祉上の対策について	① ポストコロナにおける出生数減少の取り組みについて	町長			
					② 2020年・2021年の出生数予測と前年対比は				
			2	1	川合 弘人	(1)	貴重な埋蔵文化財の保護と、出土品の展示・国内外への発信、井戸尻考古館の未来像は	① 縄文時代中期を中心とする埋蔵文化財に対する基本的な姿勢は。町として保護に関する施策はあるか。	町長 教育長
								② 埋蔵文化財は常に開発による破壊の危機にさらされている。主要な遺跡の町有地化を進める考えはあるか。	
								③ 長期的な発掘調査計画はあるか。スタッフをさらに拡充する考えは。	
④ 水煙土器、神像土器などの深鉢や土偶をはじめとして、町内の遺跡から素晴らしい遺物が出土している。しかし、収蔵庫に眠ったままの遺物は多く、出土品の保管場所も足りなくなっている。今後、どのように保管し、修復して展示し、国内外へ発信していくか。									
⑤ 井戸尻考古館は老朽化が著しい。対応などを協議した「明日の井戸尻検討委員会」の報告をどう評価するか。									
⑥ 新館建設に向けて、庁内に特別チームを発足し、財源や候補地選定、形態などの検討を進めてはどうか。									
⑦ 縄文文化を町の財産として、守り、魅力を発信し、移住促進にもつなげていく考えはあるか。									
(2)	森のようちえんを子育ての一つの形として、地域振興につなげていくことはできないか	① 森のようちえんが全国的に広がった理由をどうみるか。				町長 教育長			
		② 長野県は「信州型自然保育」という独自の基準を設けて、先進的な取り組みを始めている。特化型、普及型の認定制度もスタートさせた。富士見町は、首都圏に近く、豊かな自然があることを活かし、既存の団体とさらに連携を深め、活用していくべきだと考えるがどうか。							
		③ 町内の森のようちえんを「地方裁量型認定こども園」として認定する考えはあるか。							
		④ 教育的効果として、非認知的スキルの育ちをどうみるか。							
		⑤ 子育て世代の移住、子育て世代を呼び戻す施策として、森のようちえんが注目されていることをどうみるか。							
(3)	エコスクールの取り組みをどう進めているか	① 環境に考慮した学校施設の整備を行っているか。環境教育に活用しているか。				教育長			
		② 環境学習講座などを開いているか。							

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
3	9	織田 昭雄	(1) 富士見駅周辺の整備計画について	① 新年度重点政策で①に取り上げた産業振興の中で、商業の活力の強化とあるが、具体的には何をしていくのか詳しい内容は。	町長
				② 駅舎を利用した駅前活性化対策と、利便性の向上を目指した町としての実行計画はあるのか。	
				③ 特急あずさ乗車客専用駐車場パークアンドライドのJRとの交渉結果は出たのか。そして計画を進められるのか。	
				④ 観光案内所は手狭だと思うがもっと充実を図り、駅前公園などに移転を考えたかどうか。	
				⑤ 駅前広場を含めた商店街の街路灯について、地元商店の一部で新たな動きがあるが、町として支援する考えはあるか。	
		(2) 合葬式墓地の新設について	① 近年の少子高齢化社会の進行に伴い、近隣市町村での需要増加がある様だが、町への要望や問い合わせの現状は。	町長	
			② 町外から分譲団地に移り住んだ団塊の世代の方などは、子供たちが家を離れて県外で暮らしていれば新たにお墓を購入せず、合葬式墓地や墓じまいする家も増えている。一度実態調査をしてみたらどうか。		
			③ 町営丸山墓地の利用状況と将来的な維持管理を町はどの様に考えているのか。		
			④ 周辺自治体が住民の要望に応じて合葬式墓地を備えていれば、町が進める移住定住政策を進めていく上でも不利であると思うが、町はどう考えるのか。		
			⑤ 周辺自治体が住民の要望に応じて合葬式墓地を備えていれば、町が進める移住定住政策を進めていく上でも不利であると思うが、町はどう考えるのか。		
4	7	三井 新成	(1) 変革時代における町内事業産業の生存戦略について	① パラダイムシフト(常識としての思考の枠組みを変える)の時期が来ていると考えるが、町内産業への対応は。	町長
				② 人口減少と高齢化が町内産業の経済活動に与える影響をどう考えているか。	
				③ 工業、農業、観光業における生産活動戦略の方向性のビジョンをどう考えているか。	
				④ 各企業の生産性の向上と、賃金アップをしていくために、産業振興センターの役割をどう考えているか。	
				⑤ 生産性向上のための海外輸出を前提とした営業活動支援が必要と考えるが、その方向性は。	
				⑥ 生産性向上のための企業の統合を視野にその準備をしていく考えは。	
				⑦ 生産性向上や従業員の賃金アップを応援するための行政支援の整備を行う考えは。	
				⑧ 企業の統合による工業団地の要望も出ると考えるが、用地の確保や建設支援をする考えは。	
		(2) 創造の森整備について	① 昨年までの整備状況として、整備内容と投資金額、誘客人数の推移は。	町長	
			② 本年度当初予算の280万5千円は公園整備管理となっているが、その内訳は。		
			③ 緊急経済対策事業のうち、攻めの誘客事業としての600万円の事業内訳は。その内容と規模は。		
			④ 樹木の植え替えを予定されているが、植え替えるより新規に購入した苗木の植栽が確実と考えるが。		
⑤ 今後の創造の森としての整備計画をどう考えているか。					
⑥ 創造の森への移動手段がリフトとカートの他に乗用バギー等を導入する考えは。					

質問順 第512回 令和2年12月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
5	8	名取 武一	(1) 新型コロナ禍による生活困窮者の状況について	① 新型コロナ禍により、収入減、失業者増等町内でも生活困窮者が増えていると思われるが、その内容をどうとらえ、町の支援は。	町長
			(2) 町出身大学生への支援について	① 新型コロナ禍により、町内出身の学生は生活に苦しんでいるはず。食糧等の支援ができないか。	教育長
				② 卒業後帰町者には奨学金支援等の方策は。	
			(3) 「健康ポイント事業」について	① 同様の対策をスマホ弱者が使える事業ができないか。	町長
			(4) これからのコロナ対策について	① 新型コロナは第三波を迎え、町民へのさらなる支援が必要と思われる一方、支援策の期限が切れる。あるいは迎えつつあるものがあるが、今後の対策は。	町長
(5) 町の行政文書の性別に関する記載について	① 町の行政文書の性別に関する記載を性的少数者らに配慮して見直す考えは。	町長			
6	2	五味 平一	(1) 2020年度以降における第三セクターパノラマリゾート自主・自立経営に向けたロードマップについて	① 2020年度現在までの各種の目標の達成度は。決算時における達成予測は。	町長
				② コロナ禍により本年は減収が想定されるが、収入見込みは。そしてさらなる債務超過が懸念されるホワイトシーズンを含め今年度の予測は。	
				③ パノラマリゾートへの施設賃貸料について、正規の方法による見直しを求めるが考えは。	
				④ 2021年度以降の自主・自立経営に向けたロードマップ作製の計画は。	
				⑤ 月次決算は、年次決算の負担を軽減でき、また、事業戦略を早期に検討でき、さらには金融機関から円滑に融資を受けられるメリットがあり、議会・町民に広く情報公開ができる。導入を提案するが。	
		(2) 鳥獣被害防止の現状と計画について	① サルの行動情報配信停止のその後は。	町長	
			② 対象鳥獣捕獲年計画に対する現状と年度末推計は。		
			③ 有害鳥獣駆除数が増えない原因は。個体数調整委託費・駆除委託費10,500千円は妥当な予算額か。		
			④ 有害鳥獣対策協議会と対策についてどのような議論を行っているか。会議回数は年何回か。現状→課題→対策をサイクルとして活用しているか。または、別の方法か。		
			⑤ 猟友会メンバーの減少及び、高齢化に対する対策は。		
			⑥ 鳥獣害の被害情報把握はどのように。		

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
7	3	名取 久仁春	(1)	道の駅鳶木宿とおっこと亭の現状と今後の在り方について	① それぞれ施設におけるコロナ対策について、休業期間と従業員の給与補償方法は。その原資は。	町長
				② それぞれの施設における赤字解消対策は。		
			(2)	コロナ対策としての事業者・町民の支援策について	① 中小企業向け制度資金のための保証料と利子保証金の増額とあるが、利用した企業数は。その総額は。	町長
					② 2大観光施設の無料開放について、それぞれの施設での入場者数と補助金総額は。	
					③ 住宅リフォーム補助金の利用状況は。(昨年と比較して)	
			④ 休業要請に応じた事業者数と、支援金の支給総額は。			
			⑤ 応援振興券の利用率は。			
8	4	小倉 裕子	(1)	移住定住施策について	① コロナの影響により、テレワークの後押しはもちろん、首都圏から離れたたいという心理も働いてか、移住の問い合わせが増えていると聞いているが、対応する中での課題は。移住希望者の要望にはどのようなものがあるか。	町長
					② 移住希望者との事前マッチングは、どのような方法で行っているか。その回数とタイミングは。	
					③ 移住希望者は、富士見町にどのような魅力を感じ移住しようとしているのか。そこを調べ、適切に発信していくことが必要と思われるが、発信はどのような方法で行っているか。	
					④ その魅力が分析出来たら、その情報を町民に周知し共有を図ったらどうか。町の様々な課題ばかりではなく、魅力の再認識による町民の前向きな気持ちを、より引き出すことにつながるのでは、と思うが考えは。	
					⑤ JR富士見駅舎の一部を借りて、移住定住相談窓口を開設するという報告があったが、どのような状況から、その事業を実施しようと判断したか。またどのような効果があると見込んでいるか。	
		(2)	富士見駅前商店街について	① 商店街の空き店舗有効活用が最近積極的に進められつつある。駅前商店街に関連する都市計画道路は2つだと思うが、その計画の進捗はどのようになっているか。世代の変わった店主との話し合いの場を設けているか。	町長	

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
9	6	島正孝	(1)	職員の自己啓発について	① 近い将来、パソコン、IT等の発展・導入により、恒常的な事務作業は集約化、単純化されてくる。したがって、地方自治体の一般職員にも、今以上の専門性が要求されてくる。それに対する備えを考えているか。	町長
					② 自己啓発の促進、啓発(例えば、街づくり、条例作成、福祉の街づくり)等、高い専門性を有した職員教育は考えないか。	
			(2)	井戸尻考古館の展示調査研究の充実を	① 専門施設としての拡充を考えているか。	町長 教育長
					② 富士見町の施設ではあるが、その役割と期待は十分に高いものがある。それに相応しい、職員の研究、研究体制を考えないか。	
					③ 個人所蔵の発掘品の調査と買い取りの考えはないか。	
			(3)	視覚・聴覚障がい者(児)への窓口、公報は対応しているのか	① 職員で手話対応が出来るか。出来ない場合はどうしているか。	町長
					② 公報、その他の発行、印刷物はどのような配慮をしているか。	
			(4)	コロナ禍が町内教育に及ぼした影響は	① GIGAスクール構想の前倒しはスムーズに実施されているか。予想しなかったハプニングは発生しなかったか。	教育長
					② 休学中は児童生徒への配慮に苦慮したと思うが、具体的な対応は。又、その後のフォローはどうなっているか。	
					③ コロナ禍が児童・生徒の心身に及ぼしている影響は。	
			(5)	英語力向上には文学作品を学ぶことにより、より効果が期待出来るとは考えないか	① 英語教育早期導入の理論的根拠は何か。	教育長
					② 英米文学者の意見として、文学作品の母語の総合的な言語能力を高めることが、英語のコミュニケーション能力向上に必須とあるが、どう思うか。	

12月 7日(月) 5名 1番～ 5番  
8日(火) 4名 6番～ 9番